

元気都市 四日市へ!!

第38号

森 ともひろ通信



あなたは 4 2 2 8 1 7 人目の読者です。

43歳 四日市市長/公認会計士

■令和4年度 四日市市の展望!

当初予算は過去最高を更新~コロナに打ち勝つ 元気回復予算~

四日市市の令和4年度一般会計当初予算は過去最高の1,309億円となり、昨年度に引き続き、2年連続で過去最高を更新しました。これには、引き続き、新型コロナウイルス対策に力を入れて取り組んでいく一方で、続くコロナ禍で疲弊している市民生活を元気づけ、地域経済の活性化を図る施策や将来を見据えたまちづくりに関する積極的な事業推進していくという市としての強い意志が込められています。

主な大型施策を挙げると、新型コロナウイルス対応の予算(保健所、ワクチン接種等)が48億円、令和5年度から供用開始となる「中学校給食センター整備事業費」30億円、5月から利用が始まる「四日市市プレミアム付デジタル商品券事業(よんデジ券)」22億円、「中心市街地再開発プロジェクト事業」7億円等があります。

『コロナに打ち勝つ 元気回復予算』と位置づけ、様々な施策を展開し、まちの元気を回復させていきます。

【進む『中心市街地再開発プロジェクト』】全体デザインの方向性が完成

四日市市では、2027年を目指し、近鉄四日市駅周辺からJR四日市駅までの中央通りを中心とした約1.6kmのエリアを対象に、『中心市街地再開発プロジェクト』を進めています。

この『中心市街地再開発プロジェクト』は、近鉄四日市駅周辺のバス乗り場の集約によって交通機能の強化を図る『バスタ四日市』、スターアイランド跡地への『新図書館』、それらと近鉄四日市駅を直結する『ペDESTリアンデッキ』の設置、更には、国道1号線からJR四日市駅までの中央通りにおいて民間の力を活かし人々の回遊性を高めた憩いの空間の創出、JR四日市駅付近の再開発等、様々な事業が並行して進んでいく、大規模事業となります。

令和4年3月に中央通り再編基本計画「ニワミチよっかいち」の第2期中間とりまとめを行い、概ね全体のデザインの方向性(整備イメージ)を示せる段階となりました。この中央通り再編基本計画を踏まえ、今年度から近鉄四日市駅西側の先行整備区間の工事に入っていきます。



【自動運転車両の走行実験】中央通りで小型バスタイプ『アルマ』が走る!



四日市市では、昨年に引き続き、3月に中央通り〔近鉄四日市駅~JR四日市駅〕にて自動運転車両の走行実験を実施しました。今回の実験では、将来の運行を見据え、バスタイプの『アルマ(仏ナビヤ社)』の自動運転車両を用い、多くの市民の方にご乗車頂きました。今年の秋には、3週間という長い期間を設定し、自動運転車両の継続運行も計画しています。ご期待下さい。

『四日市コンビナートのカーボンニュートラル化に向けた検討委員会』設置 カーボンニュートラルの推進と産業競争力の強化へ

四日市市は県と連携し、企業の枠組みを超えた四日市コンビナートという一つのエリアとして、カーボンニュートラルの実現に向け、積極的に様々な先進的な取り組みや技術革新を実現していこうと3月に官民連携の形で『四日市コンビナートのカーボンニュートラル化に向けた検討委員会』を立ち上げました。カーボンニュートラルへの取り組みは、新たな革新的な技術開発が生まれる等様々な投資が発生することや新エネルギーの活用やカーボンニュートラル社会に貢献する素材供給等の新たな産業の創出にも繋がり、産業振興としての大きなチャンスでもあります。

環境改善と地域の産業競争力の強化を共に実現し得るカーボンニュートラルへの取り組みを加速していきます。

『公立学校情報化ランキング(日経BP)』全国で小学校5位、中学校8位!

文部科学省が2021年3月に実施した「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」を基に、日経BPが公立学校の情報化度合いを独自の手法でランキング化した『公立学校情報化ランキング』にて、四日市市が小学校部門では全国で5位、中学校部門では全国で8位と大健闘しました。

本ランキングは、コンピューターや無線LANといった「インフラ整備率」と、教員のICT活用力などを示す「教員指導力」のそれぞれでスコアを算出し、それらの平均を総合スコアとして順位を付けています。

本市の学校現場でのICT化の推進が高く評価されました。

公立学校情報化ランキング——小中高等学校の上位自治体

順位	自治体名	教員指導力	インフラ整備率	総合スコア	平均順位	
1	新座市	埼玉県	87.7%	94.6%	90.7%	17
2	豊南町	愛媛県	87.0%	88.9%	85.1%	11
3	武蔵市	佐賀県	86.2%	83.3%	89.1%	13
4	徳島市	徳島県	86.2%	83.1%	89.2%	30
5	四日市市	三重県	86.1%	85.9%	86.3%	37

(日経BP HPより)

【『共働き子育てしやすい街ランキング2021』東海4位】全国は21位に

四日市市は、2017年以降、当ランキングの順位を年々上げており、2021年は前年の24位から3位上昇し全国21位となりました。本市では私が市長に就任した2016年以降、「子育てするなら四日市」「教育するなら四日市」のスローガンを掲げ、子育て・教育環境の充実を最重要課題として取り組んでいます。

本市の代表的な取り組みは、①保育園の待機児童ゼロを実現、②病児保育室は県内最多、③子ども医療費の窓口負担無料化の対象が中学生まで(県内市では唯一)。対象者全ての所得制限を撤廃、④学童保育所が6年間で約1.6倍に増加等です。

【40%プレミアム付きデジタル商品券『よんデジ券』】今後の予定

四日市市では、新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛や営業自粛により落ち込んだ地域経済の回復や市内の事業者のキャッシュレス化を図ることを目的とし、今年度、40%のプレミアム付きデジタル商品券『よんデジ券』事業を実施しています。

当『よんデジ券』事業は、総額70億円という全国でも最大規模のデジタル商品券事業となり、10月31日まで利用可能です。

市民の方を対象とした「市民先行販売受付」では、6万人を超える方の申し込みがありました。今後、5月16日から5月30日の期間、市外の方も購入可能となる「一般販売受付(第1弾)」が始まります。更に、販売枠に余裕があれば、7月上旬に「一般販売受付(第2弾)」を実施する予定です。

販売は、1,000円単位(額面1,400円)となり、1人最大50,000円(額面70,000円)まで購入出来ます。4月末時点で2,000を超える市内店舗が参加店登録をしています。是非とも『よんデジ券』をご購入頂き、厳しい状況の市内店舗の応援をお願いします! 詳細はHPにてご確認ください。



■駅立ち717日到達!! 街頭演説も継続的に実施中。

新型コロナウイルス感染症の影響で思うように実施出来ていなかった駅立ち・街頭演説も、3月の「まん延防止等重点措置」の解除により、一定のペースで実施出来る様になってきました。平成22年9月21日から始めた朝の駅立ちは、11年を超え、令和4年4月28日の近鉄北楠駅で717日目を迎えています。

駅立ち・街頭演説は政治家 森智広の活動の原点です。原点を忘れることなく、積極的に市民の皆さんに市政情報及び、自らのメッセージを届け、皆さんと共に四日市市の政治を進めていきます。



駅立ち実績(2021年11月4日~)

11月 4日 近鉄四日市駅西口	11月29日 近鉄富田駅東口	3月22日 三岐暁学園前	4月18日 近鉄川原町駅
11月 8日 近鉄四日市駅北口	12月 3日 近鉄塩浜駅東口	4月 1日 近鉄霞ヶ浦駅	4月20日 近鉄阿倉川駅
11月18日 近鉄富田駅西口	12月13日 近鉄四日市駅東口	4月11日 近鉄伊勢川島駅	4月25日 近鉄伊勢松本駅
11月24日 近鉄塩浜駅東口	12月20日 JR 四日市駅	4月13日 近鉄桜駅	4月28日 近鉄北楠駅

森 智広 プロフィール

学 歴

平成6年 西陵中学校 卒業
 平成9年 四日市南高校 卒業
 平成13年 立命館大学 理工学部 卒業
 平成23年 早稲田大学大学院公共経営研究科 修了

職 歴

平成15年 中央青山監査法人 入所
 平成18年 あらた監査法人 入所
 平成19年 公認会計士登録
 平成21年 プライスウォーターハウスクーパース株式会社 事業再生/再編グループ 出向
 平成22年 あらた監査法人 退所
 平成23年 四日市市議会議員選挙にて、5,493票の負託を受けてトップ当選 [現役最年少]
 平成25年 税理士登録
 平成27年 四日市市議会議員選挙にて、5,852票の負託を受けてトップ当選
 平成28年 四日市市長選挙にて、46,051票の負託を受けて当選
 令和2年 57年振りの無投票で 四日市市長選挙2期目当選。

【役職】

・三重県市長会 副会長
 ・三重県後期高齢者医療広域連合 副連合長



継続的に市政情報発信しています!
森ともひろブログ

森ともひろブログ 検索